

東京歴史科学研究会2017年度歴史科学講座

江戸・東京の水害と首都圏水系

講師：渡辺浩一氏（国文学研究資料館教授）

主要業績：「江戸水害と都市インフラ」（『日本歴史』830号、2017年7月）、「災害復興をめぐる近世都市政策と地域社会」（『歴史評論』797号、2016年9月）、「日本近世都市の文書と記憶」（勉誠出版、2014年）、「災害対応と文書行政」（『歴史評論』760号、2013年8月）

【日時】2018年2月3日（土）14：00～（開場13：30）

【参加費】600円（予約不要）

【会場】早稲田大学戸山キャンパス36号館681教室

*アクセス：地下鉄東京メトロ東西線「早稲田駅」から徒歩3分

2011年の東日本大震災以降、首都直下型の地震・水害などによる複合災害への関心が高まっています。こうした予想される災害に対して、歴史学はどのような役割を果たすことができるのでしょうか？

今回の歴史科学講座では、渡辺浩一氏を講師に招き、17世紀から1960年代までの江戸・東京における水害と首都圏水系についてご講演いただきます。多くの方のご参加をお待ちしております。

東京歴史科学研究会

Tel/Fax：03-3949-3749

〒114-0023東京都北区滝野川2-32-10-222（歴科協氣付）

Web：<http://www.torekiken.org/>

e-mail：torekiken@gmail.com

Twitter：[@torekiken](https://twitter.com/torekiken)

